



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年6月16日発行 第2796号

本日のプログラム

2021年6月16日(水)

通算第2973回例会

本年度第40回

WEB例会

例会次第

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・報告事項

前回例会記録

2021年6月9日 第2972回例会

WEB例会

- ・出席報告 54名中 31名
出席率 57.40%
- ・クラブフォーラム

例会予定

6月23日(水)

通常例会 瀬戸商工会議所

(食事はありません12時30分開始)

会長 松村晋也君

「会長年間回顧」

2021 学年度米山奨学生 タイ・リンさんからの近況報告



おはようございます！昨日(6月6日)、犬山市行きました。隣の桃太郎神社も見に行きました。とても楽しかったです。最近良い言葉を勉強になりました。自分の信じた道をゆく。愛や思いやりの心も、大切にしよう。投げたものがブーメランのように自分に返ってくる。



第2972回例会挨拶 会長 松村晋也君

本日は第2972回の例会です。緊急事態宣言が延長されました。WEBの例会です。今日はリーダーシップの話しをしたいと思います。

今期のホルガー・クナーク RI 会長も「ロータリアンはリーダーシップを発揮して奉仕の機会の扉を開いて、奉仕活動に力を入れて下さい」と言われています。又、既存のロータリアンはリーダーシップを発揮できるような若い人を育てて行くのも重要なロータリーの目的であると言われていています。それよりもすでに、皆様方は、家庭で、職場で、地域でリーダーシップを発揮して活躍している方々ばかりです。ロータリーは116年の歴史があり、変わって来ている事、あるいは、これから変わるであろう事、と変えてはいけない事があります。

ロータリーにとって不変な事とはロータリアンの精神的支柱と言われている「ロータリーの中核的価値観」です。これには親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップの5つがあり、この中にもリーダーシップが含まれて

います。

私はこのリーダーシップから、もう1つノブレス・オブリージュという言葉思い出します。最近ではあまり使われませんが7~8年前にはよく用いられた言葉です。これはもともとフランス語でして「フランスの貴族の間では身分の高い人には義務が発生する」という事から、現在欧米では「上に立つ人、指導者にはそれなりの倫理観と社会的責任が求められる」と解釈されています。この様に我々はリーダーシップを発揮する時には、常に高潔性という事を傍らに置き、又、倫理観を携えての行動でなくてはならないと言われていています。これらの事を考えないリーダーシップは時に独善や独裁につながりかねないと考えられます。我々ロータリアンも常日頃から自戒していなくては行けない事柄だと思えます。本日はリーダーシップとノブレス・オブリージュのお話をさせていただきました。

発行：RI 2760地区 瀬戸ロータリークラブ 〒489-8511 愛知県瀬戸市見付町 38-2 瀬戸商工会議所内

会長 松村晋也 / 幹事 加藤一夫 / クラブ広報委員会 加藤克己、近藤三博、山内敏也

TEL0561-84-1160 FAX 0561-84-0116 E-mail:setorc@titan.ocn.ne.jp https://www.setorotary.com/